

第64回  
全国  
保育問題  
研究集会

石川集会  
実行委員会  
ニュース



No.  
3

2025年2月4日発行

1月29日(水)19:30より  
オンラインで集会プレ企画が  
開催されました。

様子を簡単に  
報告します。

第1回石川集会プレ企画として、「子どもから『へいわって何?』と問われたら」というテーマ(季刊330号の特集)をもとに、参加者(全国から!)が自由に話せる雰囲気で行われました。

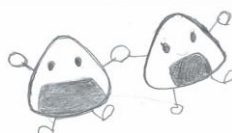
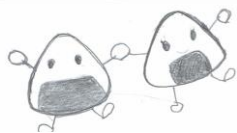
季刊330号から谷川俊太郎さんの詩「ひとりひとり」の朗読から始まり、原稿を依頼された映画監督・小原浩靖さんが「保育雑誌に僕がなぜ?」と編集部疑問を投げかけられたことや小原さんの最後の7行(ぜひ読んで)の文章について話され、皆さんからも「胸が打たれた」と感想が出されました。

平和分科会のウィンフィールドさんからは「コロナが明けて世界情勢が変わった。5年ぶりに対面した集会では、保育実践も大事だけれど、おとながどうしたらいいんだろう?」が問われた。間近で戦争をみている中で、オール沖縄でオール日本で何ができるのか発信できないと、保育者にも問いかけてられている状況だ」と語りました。事務局の高見さんからは、「2017年頃、公園に散歩していたときに」アラートがなりだし、こわい!と子どもたちが飛びついた、「なんでこの音が鳴ったの?」「何で爆弾が来るの?」と質問される度にどう答えるべきか悩んだという話がだされ、各地からも同じように悩んだことや、職場内で平和を考える学習会を企画していること、地域セミナーで平和を取り上げたことなど、多くの話題が交流されました。

清水民子さんからは、戦争を体験してきた立場から「小学校1年生は書き初めが『くにをまもる』2年生は『和平の春』だった」と意味が分からない変化のなか「隠れる場所を考えていた」ことを話されたときに、世界の戦火の中にいる子どもたちのことも考えたりしました。

戦争を伝え考え合う機会とともに、平和ってなに?……当たり前の日常こそ平和・日常の当たり前を丁寧に過ごすことの大切さ(会場の意見より)を真剣に考える機会になりました。

横井喜彦(愛知保問研)



### 今後のプレ企画のお知らせ(すべてオンラインです)

- ・第2弾は 2月18日19:30~ テーマは『学童保育』で、講師は石原剛志さんです。
- ・第3弾は 3月18日19:00~ テーマは季刊331号『あそびの楽しさを感じる心』はどこから生まれたか?をテーマにして皆さんで語り合います。

どの企画も同じです。Zoomの参加ID : 303 571 7416 パスコード : 123456

愛知保問研より  
石川集会に向けてのとりくみ  
についての報告です。

2025年1月26日(日)に愛知保問研では、石川の全国集会に提案する実践を検討しました。今回、愛知からは「父母とともに」部会、「絵本」部会、「乳児保育」部会、「異年齢保育」部会から各1本の実践と「保育内容と保育時間」に提案する実践の計5本を提案する予定です。

各部会で検討された実践報告は、保育現場がさらに多様になっていることをうかがわせるものでした。それぞれの実践報告の各エピソードには、今、考えるべきテーマが見え隠れしており報告者が「どのエピソードも載せたい。でも、テーマが明確に伝わるようにもしたい」と葛藤するのも当然と思われました。

各部会で繰り返し検討された実践報告でしたが、愛知保問研全体で検討することによって新たなテーマや検討すべき視点が見えてきました。質疑応答で出された意見をもとに内容のブラッシュアップが図られ、石川集会ではより中身の濃い意見交流が生まれるのではないかと期待しています。

実践検討会の最後に愛知保問研代表の亀谷氏は「今回の提案は内容が複合的という印象を受けた」と語られました。それは、保育現場が多様な現実に向き合い、試行錯誤しながら保育していることを示しているのだと考えます。全国の仲間とそれぞれの保育の現状や工夫、新たな保育の創造と大事にし続けること等を語り合いたいと思いました。



高木芳子(愛知保問研)



写真提供：石川県観光協会

## よっしーの金沢・石川つばやき旅行記

今回は近江町市場を紹介します。

「ちょこっと寄っていこう」と思い、立ち寄りました。市場はいくつもの通りがあり、とても広かったです。だから、回りきれなくて、紹介できるほど、知っているわけではありません。でも、おもしろいところだという思いをずっと持っています。

私はここで、食べ歩きを楽しみました。お寿司屋さんのようなお店も何軒がありました。しかし、今回はそのような場所ではなく、店頭で牡蠣をさばいってくれて、それをいただいたりしました。「できるだけおっきいのがいいな」なんて大将とおしゃべりしながら生牡蠣が出てくるまでを楽しむのが最高でした。石川のお土産や加賀野菜もありました。能登のいしるも売っていました。次はもう少しゆとりを持って、ゆっくりとこの市場を楽しみたいと思っています。